



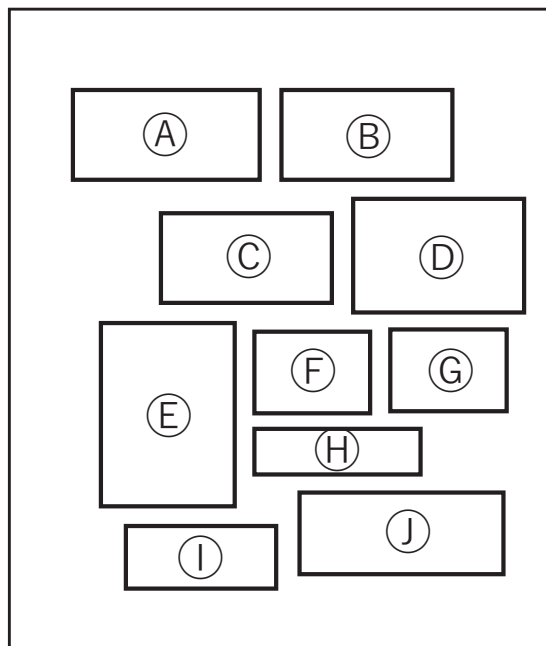
ケンセツミライ HOKKAIDO

北海道の社会資本整備2023



令和5年（2023年）4月
北海道 建設部

<表紙の写真について>



ドーチョくん

- ① 道道 美川黒松内線（黒松内町）
- ② 湯の川（函館市）
- ③ 道道 きたひろしま総合運動公園線（北広島市）
- ④ 高規格道路 旭川十勝道路（富良野市）
- ⑤ 土砂災害防止の防災教育（札幌市）
- ⑥ 虎杖浜海岸（白老町）
- ⑦ 都市計画道路 3・4・5 駅前通（木古内町）
- ⑧ 北海道消防学校（江別市）
- ⑨ オホーツク流氷公園（紋別市）
- ⑩ 厚真富里急傾斜地（厚真町）

はじめに

■策定の背景と趣旨

北海道は日本の国土の約2割を占める広大な面積を有し、中央部には日高山脈や石狩山地、天塩山地などの山々が連なり、それらを源流とした石狩川、十勝川など河川の下流域には、石狩平野、十勝平野などが広がっています。また、北海道は千島火山帯などに属しており、活火山やカルデラ湖なども多く分布しています。さらに、四方を海に囲まれていることから、半島や岬、湾などの多様な海岸地形を有し、日本を代表する湿原や潟湖などもあります。気候は、積雪寒冷な亜寒帯気候に属しており、四季の変化に富み、豊かな自然環境や美しい景観に恵まれています。

北海道では、明治2（1869）年に政府により開拓使が設置されて以降、豊富な資源や広大な国土を利用し、国全体の安定と発展に寄与することなどを目的に、これまで約1世紀半に渡り、道路、堤防やダム、砂防施設、公園、公共施設などの社会資本が整備されてきましたが、全国に比べると未だ整備水準が低い状況です。

また、近年、人口減少や高齢化、気候変動の影響、さらには新型コロナウイルス感染症の流行の長期化などにより、北海道の社会資本整備を取り巻く社会情勢は大きく変化し、建設産業の担い手不足や激甚化する大規模自然災害への対応、今後一斉に更新期を迎える公共土木施設の老朽化対策など、多くの困難な課題に直面しています。

そのような中、国内では、近年の災害から得られた教訓や社会経済情勢等の変化を踏まえた国土強靱化の取組が進められるとともに、コロナ禍を経て、これまでの働き方や暮らし方を見直し、都市部の密を避けた、自然豊かな地方での生活への関心が高まっています。また、近年飛躍的に発達している情報・通信技術を、都市や暮らしの中に積極的に取り入れたSociety5.0社会の実現に向けた新たな生活様式の導入や、将来の気候変動を緩和し適応するための脱炭素社会を目指した産官学の取組なども本格化しています。

道内では、2022年に全国都市緑化フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」が恵庭市を中心に開催され、メイン会場となる「花の拠点はなふる」には約34万人が来場されるなど、多くの方々に北海道の魅力を発信することができました。また、2023年には「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）」、「全国豊かな海づくり大会」など、気候変動、観光、環境などに関連する国際的な会議などが開催される予定です。

このような社会変化を見据えつつ、道内各地域のニーズに応え、将来にわたって安全・安心で心豊かに住み続けることができる活力ある地域社会を構築し、地域の「稼ぐ力」の回復・強化を図っていくためには、社会資本の現状や将来像を地域の方々と共有し、地域と一体となって社会資本の整備・維持管理に取り組んでいくことが重要です。そしてまた、若者や子ども達にも社会資本の役割を理解し、魅力を感じてもらうことで、次代の社会資本整備を担う力になってくれることを期待しています。

こうした思いから北海道建設部では、現在取り組んでいる施策や実施している事業を取りまとめた「ケンセツミライHOKKAIDO～北海道の社会資本整備2023～」を策定しました。これからも、地域の声をお聴きしながら、職員一同力を合わせ、『輝きつづける北海道』をめざして、計画的かつ効率的な社会資本整備に取り組んでまいります。



2023年4月
北海道 建設部長 北谷 啓幸

目次

I. 北海道の地域特性と課題	
1. 地勢・気候、社会資本の状況	・・・ P3
2. 広域分散型の地域構造	・・・ P4
3. 人口減少・高齢化の状況	・・・ P5
4. 頻発する自然災害	・・・ P6
5. 社会資本の老朽化	・・・ P7
6. 積雪寒冷な気候	・・・ P8
【コラム①】北海道における気候変動の影響	・・・ P9
II. 日本の安定と発展に貢献する北海道	
1. 食料安全保障の強化に貢献	・・・ P11
2. 2050年カーボンニュートラルの実現に貢献	・・・ P11
3. 道民の命を守り、国全体の強靱化に貢献	・・・ P12
4. 観光立国の実現に貢献	・・・ P12
III. 社会情勢の変化	
1. カーボンニュートラル社会の実現に向けた動き	・・・ P13
2. コロナ禍を踏まえた新たな生活様式の拡大	・・・ P13
3. Society5.0社会の実現に向けた動き	・・・ P14
4. 観光振興と国際交流の拡大	・・・ P14
IV. 社会資本整備の基本方針と主要施策	
1. 社会資本整備における重点事項と主要施策	・・・ P15
2. 北海道の社会資本整備	・・・ P16
(1)5つの重点事項	・・・ P16
(2)北海道の社会資本	・・・ P18
(3)施設整備の方向性	・・・ P19
(4)5つの重点事項と各分野の主な施策・事業など	・・・ P23
3. 重点事項と主要施策の取組	・・・ P25
(1)防災・減災、国土強靱化	・・・ P25
(2)インフラメンテナンス	・・・ P33
【コラム②】道道 登別港線 蘭法華トンネル補修工事	・・・ P37
(3)持続可能な社会・経済の形成	・・・ P38
(4)ゼロカーボン北海道の実現	・・・ P47
(5)北海道Society5.0の実現	・・・ P52
4. 空港事業、漁港事業	・・・ P57
(1)空港事業（総合政策部所管）	・・・ P57
(2)漁港事業（水産林務部所管）	・・・ P59
V. ケンセツミライトピックス	
1. 2022～2023年の社会資本整備を取り巻く出来事	・・・ P61
2. 動画で見るケンセツミライHOKKAIDO	・・・ P66
VI. 2023年度の主な事業	
参考資料	・・・ P68